

Scene4 始めようエコバッグ生活



地球のために

5年前から活動を行っていますが、まだまだエコバッグの持参率は低いです。ごみの減量化や地球温暖化防止のために、身近でだれでも簡単にできるエコ活動なので、一人でも多くの方に利用してほしい。これからも運動を続けていきたいです。



串間市建設業協会女性部長
谷口 直美さん

5月9日、市内3店舗の入り口で、エコバッグ推進運動がありました。串間市建設業協会女性部(谷口直美部長、26人)の皆さんをはじめ、串間土木事務所職員や市役所職員ら約30名が参加。買い物をしたお客様にエコバッグの利用推進を呼び掛けました。合わせてエコバッグ持参率の調査を行いましたが、約10%の持参率。一人ひとりのエコに対する意識を変えるために今後も活動を続けます。

社会福祉功労者等表彰式



表彰のようす

4月24日、総合保健福祉センターで社会福祉功労者等表彰式がありました。表彰されたのは、家庭介護功労者部門で谷口ミドリさん、谷川勝子さん、上村貴子さん、石野幸代さんの4名。式では代表して石野幸代さんが謝辞を述べました。

Scene1 串間のよかむん振る舞う



愛情たっぷり

やっぱり素材を作っている方たちだからこそ、料理の見せ方が分かってますね。どのお料理も手が込んでいて愛情もたっぷりです。わたしは特に焼豚おにぎりや長芋の肉巻きがおいしかったです。串間のよかむんを堪能させていただきました。

Scene5 おいしいお茶入れ方学ぶ



おいしいお茶

いつも飲むお茶より味が濃くておいしかった。ペットボトルで飲むお茶と味が全然違うのにビックリ。はじめて知ることも多くて勉強になりました。おともだちと一緒に飲むとさらにおいしいです。お家でもお茶をいれてみようと思います。

まちの
話題My
Town
Topics

市内の話題や出来事などを
写真を交えて紹介します。

5月15日、串間市茶業振興会(吉田武士会長、12人)が、秋山小学校でおいしいお茶の入れ方教室を開きました。加藤直樹副会長が新茶を贈呈し、「おいしいお茶があることを知ってほしい」とあいさつ。児童は振興会からの興味深い説明を真剣に聞いていました。グループに分かれてお茶を入れると、新茶のいいにおいが教室に漂いました。最後に自分で入れたお茶をおいしそうに飲んでいました。

Scene6 ごみ処理施設を社会見学



ビックリです

授業でも習ったけど、教科書だけでは分からないクレーンの大きさやごみの量などが分かって勉強になりました。ごみのにおいが外に出ないような工夫もされていてすごいなと思いました。



5月17日、福島小学校4年生70名が串間エコクリーンセンターごみ処理場を見学しました。社会科見学として施設職員らが説明。回収されたごみが処理施設に運ばれた後にどのように処理されるかを学びました。実際に中央整備室やゴミクレーン、収集車などを見学し、子どもたちは真剣なまなざし。また、計量機でみんなの体重測定をするなど、教室だけではできない貴重な体験ができました。

夫婦浦海岸が海中公園に指定

昭和45年、日本で初めて海中公園が誕生することになりました。その1つが夫婦浦一帯の海岸です。現在は海域公園と呼びますが、さんご礁と色とりどりの熱帯魚が泳ぐ美しい海は神秘的です。~昭和45年7月発行・広報くしまから~

思い出の



夫婦浦海岸の一帯(当時の写真)



Scene3 串間の魅力を発信します



情報発信の場

これからは幅広い世代の方々に利用してもらえるように工夫したいです。地場産品と観光の両方の情報発信の場として利用してほしい。宮崎駅にお越しの際はぜひ立ち寄ってみてください。宮崎市内のお知り合いの方にもお勧めしてくださいね。

4月30日、JR宮崎駅構内で串間市の地場商品を販売するチャレンジくしまが、NPO法人運営で装い新たに1カ月半ぶりにオープンしました。新たに運営するのは木と木とファーム(瀬尾大樹代表、7名)で、企業と生産者をつなぐ役割を担い、新しい特産物の開発にも力を入れていきます。また、新たに飲食スペースを設置。店内で串間の商品を楽しめるなど、より身近に利用しやすくなりました。